

イチョウの葉っぱで、親子いきものお絵かき

■プログラムの概要

ねらい	・親子で、イチョウなどの落ち葉を拾いながら、全身の感覚で自然に触れる。 ・集めたイチョウの葉っぱで、好きな生きもののお絵かきをしながら、親子で秋の自然を楽しむ。		
キーワード	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	30～40分	実施場所	児童館ホール・園庭・公園など
使用するもの	イチョウの葉、両面テープ、色画用紙、マジック、セロハンテープ、敷物、紙芝居「木の精キロリのひみつのいのり」		
全体の流れ	<p>【事前準備】 あらかじめ、親子で近隣の公園でイチョウの葉を拾ってくる。児童館でもストックを準備しておく。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 導入 今日の活動の流れとねらいの説明。2. 紙芝居（対象が4～5歳児・保護者の場合のみ実施） 「木の精キロリのひみつのいのり」3. イチョウのお絵かき 持ってきたイチョウの葉を画用紙に両面テープで貼っていく。4. 葉っぱ貼りあそび 1～2歳児の場合は、合同で大きな動物の絵など（キリン・ヒマワリの花・ライオンなどなんでも可）を用意しイチョウの葉を貼って遊ぶ。5. 発表・ふりかえり 作品の発表、保護者が感じたことなどの共有をする。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
当日までに	<p><親子でイチヨウの葉っぱ集め></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパにも協力してもらおう。 ・イチヨウの葉っぱを多めに集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色付きの良いもの。 ・ある程度の大きさのもの。 ・イチヨウが少ない場合は、他の種類の葉っぱも集める。
5分	<p><導入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れとねらいの説明 	
(5分)	<p><紙芝居></p> <p>「木の精キロリのひみつのいのり」</p> <p>※対象が4～5歳児・保護者の場合に実施</p>	
20分	<p><イチヨウのお絵かき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の作品作りの見本を提示（イチヨウの葉で作った動物・花など） ・描くものを決める～画用紙にのせてみる 「好きな生きもの、動物、植物、人や物」 ・イチヨウの裏に両面テープを貼り、決めた形に画用紙に貼っていく。 ・題名も考えて書く。 <p><葉っぱ貼りあそび></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、大きく描かれた絵にイチヨウを貼って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・白画用紙より色画用紙（うす桃・うす緑など淡い色）の方が、出来上がりがきれいに見える。 ・試しに画用紙にイチヨウの葉を並べ、作品をイメージしてから両面テープで貼るとよい。 ・乳児、幼児は親子の作品作りに集中できる時間が短く、形を予想は困難なので、大きく描かれた楽しい絵などを用意しておく。イチヨウを貼る際は、裏側に貼った両面テープの裏紙をはがして渡してあげる。
10分	<p><発表・ふりかえり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった作品をみんなで紹介し合い楽しむ。 ・今日の活動で、保護者が感じたこと（感性）の共有。 ・子どもたちの様子を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、できた人から発表できるよう、声をかける。 ・ふりかえりを重要視する。 ・どんな感じがしましたか？（イチヨウの葉を捨てる活動から作品まで、感性が動いたことなどありましたか？） ・お子さんの様子はどうでしたか？など共有できるとよい。

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
イチョウの葉	1人20~30枚	参加者に事前に拾ってきてもらう。児童館でもストックを用意しておく。イチョウは、実施の3日前頃に新聞や雑誌に挟んで保管（カビ止め）しておくとうよい。
両面テープ	必要数	イチョウの裏に貼る。
画用紙	参加者数	色画用紙は、淡い色の方が、出来上がりがきれい。白の画用紙で実施しても問題ない。
マジック	グループ数	題名や、目や口など細工するところに使用。
セロハンテープ	グループ数	硬いものが貼り付かないときのみ
ビニールシート	大	イチョウの葉のくずと両面テープの裏紙が床に落ちるので、ホールの管理上、敷いた方がよい場合のみ。
紙芝居 「木の精キロリのひみつのいのり」		対象が4~5歳児・保護者の場合のみ。

■実施にあたって留意する点

- ・親子でイチョウを拾ってくる活動も、このプログラムのねらいの感性を揺さぶる活動のため、事前にイチョウを拾ってきてほしい旨を知らせておけるとよい。
- ・イチョウを拾ってこなかったり、日が経ちすぎて葉がカサカサになったりすることが予想されるので、職員側で用意するものはなるべく新しいものとする。
- ・保護者自身が、感性を揺さぶる体験によって、お子さんへ影響が大きく出る取り組みである。
- ・持ち帰って、家族で掲示して楽しんでもらえるよう伝えとよい。
- ・自然の体験になれてきたら、公園・館庭など、外の景色・空気の中で活動ができると、なお感性が揺さぶられることが増える。外でブルーシートを敷いて、画用紙を広げて実施してもよい。